55　「わたしのいもうと」

１２月に入り、令和元年も残すところあと一か月弱となりました。釜利谷フェスティバルに向けて、校内は徐々に活気づいています。

さて、前回もお伝えしましたが、今週は「人権週間」ということで、低中高学年ブロックで人権について考える「子ども人権会議」や、１２月６日(金)には一般社団法人「いのちを織る会」から美谷島 邦子様をお招きして、命の大切さや安全への願いについてご講演をいただく予定となっています。

また、昨日の朝会では、私から「わたしのいもうと」という絵本の読み聞かせをしました。この作品はいじめによって学校へ行けなくなり、ついには命を落としてしまった妹のことを姉の視点から見つめてかかれたものです。読み始める前に子どもたちには、あなたの命も周りの人の命も同じように大切でかけがえのないもの、登場人物の気持ちを考えながら聞いてください、と伝えました。子どもたちに命の尊さが少しでも伝わってくれていればと願っています。

いじめは、最も身近な人権侵害という捉えを常に持ちながら、今後も「いめじは、しない・させない・許さない」に取り組んでまいります。